

(1) 教材名： けむりのきしゃ

(2) 本時のめあて： 2のばめんをよんで きもちをかんがえよう。

今年度赴任された先生である。前任校で初任者からの3年の勤めを終え、平成26年度の人事異動によって赴任してきた。

4月から校内の先生方の授業ビデオ等を見て「やってみようかな？」不安に満ちた挑戦である。しかし、うれしいのひと言である。本日の授業に至るまでに、こそこそと、職員室となりの部屋で、教材の拡大版を準備し、教材研究を淡々と重ねていたのである。「いい結果を求めようとするな。私なりの授業への挑戦を目指してください。」節に願う。

一年生である。義務教育3ヶ月の状況のなか、親の期待と不安をすべて子ども達が背負い、その行く末が教師に托されている。

幼い我が子を托す親たちが学校や教師に一番に期待するのはなんだろう。「安心」ではないだろうか？家の子どもが大切にされている、家の子どもの笑顔が何よりも保護者の「安心」のバロメーターではないだろうか。本日の授業は、校内研修でも何でもありません。静かな教師の挑戦である。



【3枚の写真】 この3枚の写真らどんな教師像や授業がイメージできますか？



前文でも触れた「安心」ができますね。まず理解してほしいのは、今日は授業参観日でも、研究授業でもありません。何でもない日常の日であることを分かってもらいたい。写真①、子ども達の一生懸命が見ることが出来ます。親の見る目は作品の上手い下手は全く気になることではないのです。ただ、我が子もみんなと一緒に「自分なりに一生懸命にやったか？」なんです。そしてその大作がどのように扱われているかが保護者の「安心」のバロメーターになるのではないのでしょうか。写真②③、学習環境の整備である。常々書かせてもらっている、「聴き合う。支え合う。深い学は整然とした環境でしか実行されない。」

1年生です。お家ではお母さんに事細かく言われてもできないお子さんが、このクラスにもきっといるはずですが・・・どうです。みごとですね。『静然とした学びは、整然とした環境にしか生まれぬ。』

大型教科書を使っての初の挑戦である。先日「ごじゅうおん」の単元を終えたばかりである。



まずは読む。たどたどしい読みが教室にこだまする。文字と音声一致しない子もいるだろう。しかし仲間の声にまぎれて読んでいる。それでいい。とにかく文学に親しむためには「読み」は絶対である。形を変え、間を置いていろんな形で言葉や文字にふれさせてほしい。下の写真、みんなの視線を一つにしてテキストに向かう。授業者の心が開かれている。私の感じてほしいことでなく、明らかに、子ども達の気づきや、声で授業が進んでいる。子ども達も安心しきって語っている。どんな言葉も否定しない授業者の姿勢が鍵である。



【ペアできき合う】

授業者は、「おほしさんとおじいさんの会話を考えてごらん。」ペアに課題を下ろした。子ども達はなんの遠慮もなく「きき合う」。なぜ？どうして？そうなんだ。かわいいのひと言である。対話の内容にいいも悪いもない、仲間との対話の中に入ることができてればOKである。授業者のすばらしい挑戦である。焦らずゆっくりやっていきたい。



「対話」が先か？「書く」が先か？よく書いた内容を持って考えの交流を意図とする対話を仕組む教師を見るか？である。結論、子ども達に任せればいい。一人ではなかなか鉛筆が動かない子がいる仲間との対話によって、自分の考えに「安心」をもって書くことができる



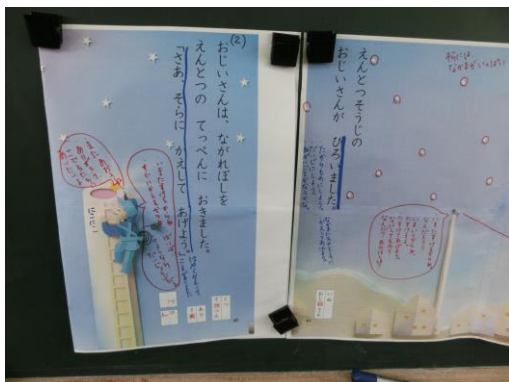
できる子の方が多いのではないだろうか。1年生の段階である。書けることが条件になると、まだまだ、「ごじゅうおん」を覚えきれない子ども達が授業に参加できないことになる。

「どの子も一人にしない。」にこだわれば、大切なのは「書ける」ことより「対話」ではないだろうか。

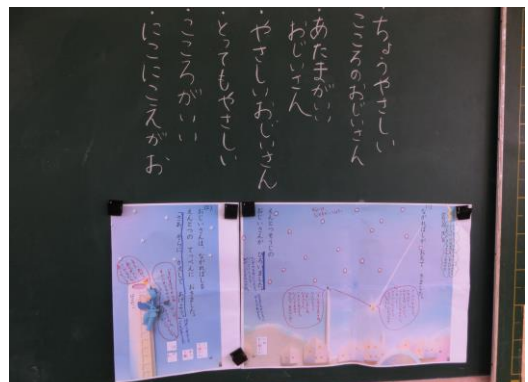
【かつてに対話】 授業者は、会話を書き終えた子ども達を中央の間に座らせた。すると、教師がいない間に、勝手に会話文を読んで交流していた。男の子が「はいどうぞ」である。

右下の女の子達は、自分が書いた「会話」を読み比べている。これも授業者がいない間にである。子ども達は授業の流れを予想できていたのではないだろうか。当然この後、授業者は子ども達の期待通り、それぞれの会話文の読みの交流を進めた。

【支える仲間】 虫の居所が悪い時がある。授業開始からこの状況であるが、途中、となりの子が何度か声をかけてあげる。「仲間は仲間が支える。」である。さりげない女の子の行為をほめてあげたい。拍手！



子ども達の声がどれだけ反映され
たかを大切にしたい。



S先生ありがとうございました。かわいい一年生ですね。みんな一生懸命です。教師の姿が子ども達に映し出されていますね、柔らかな教師の対応が、「安心」できる教室を提供できるのです。整然とした教室で楽しくしっとり学び合う子どもたちの姿をイメージしてください。教室のルールや、基本的な学習規律の定着は、この時期が一番大切かもしれませんね。

すてきな授業ありがとうございました。「あせらず ゆっくり」やっていきましょう。
国頭学びの会ゆい

